

データバックアップ方法(ユーザファイル、各種設定ファイル)	更新日	2008/7/23
-------------------------------	-----	-----------

画面データ以外の設定ファイルに関しては、以下の方法でバックアップを取ることが出来ます。

■準備するもの

- ・外付けHDD またはフラッシュメモリ

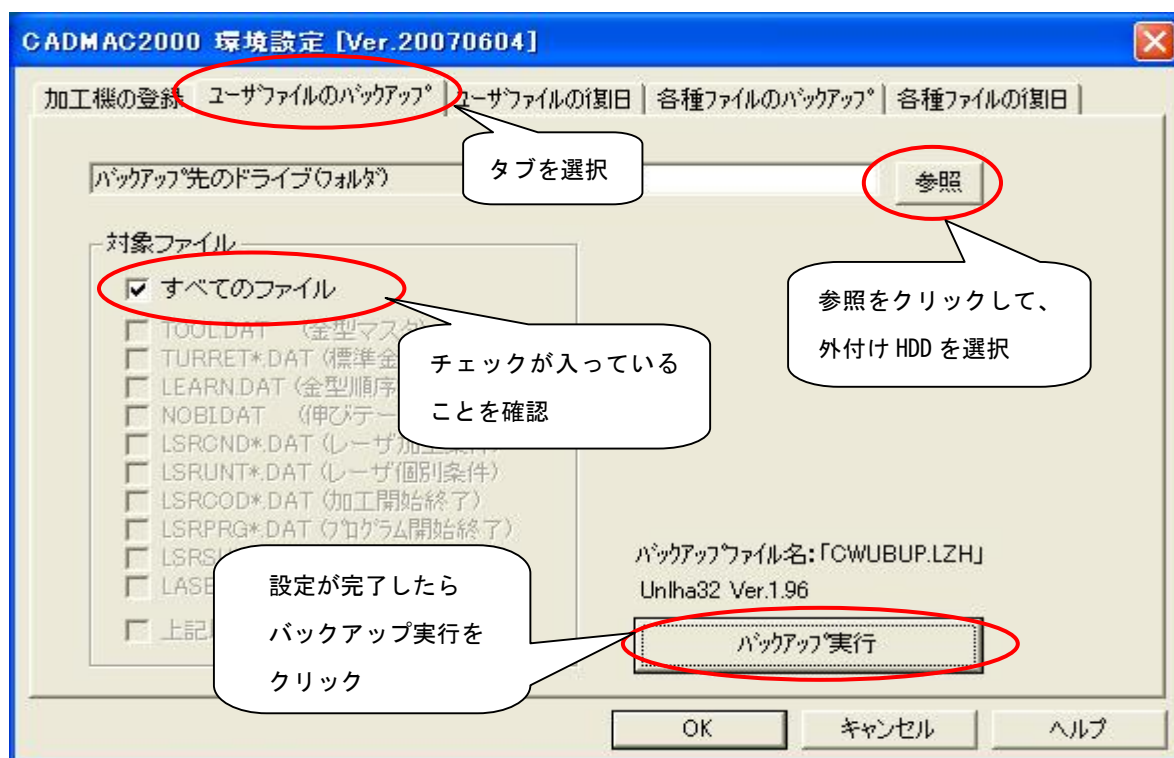
(使用状況によっては、バックアップファイルの容量が大きくなる場合があります。容量の大きなメモリをご用意頂く事をお勧めします。)

■ユーザファイルのバックアップ

伸びテーブル・金型マスタ・レーザー加工条件などの設定データのバックアップは、以下の方法で行います。



- ①デスクトップにある **環境設定 Evolution** のアイコンをダブルクリックします。
- ②環境設定の画面が表示されます。
- ③タブにて、**ユーザファイルのバックアップ**を選択します。
- ④参照ボタンをクリックして、バックアップ先のドライブに外付けHDDを選択します。
- ⑤全てのファイルにチェックが入っていることを確認のうえ、**バックアップ実行**をクリックします。



⑥ **バックアップ実行**をクリックしますと、下図のような画面が表示され、バックアップが開始されます。



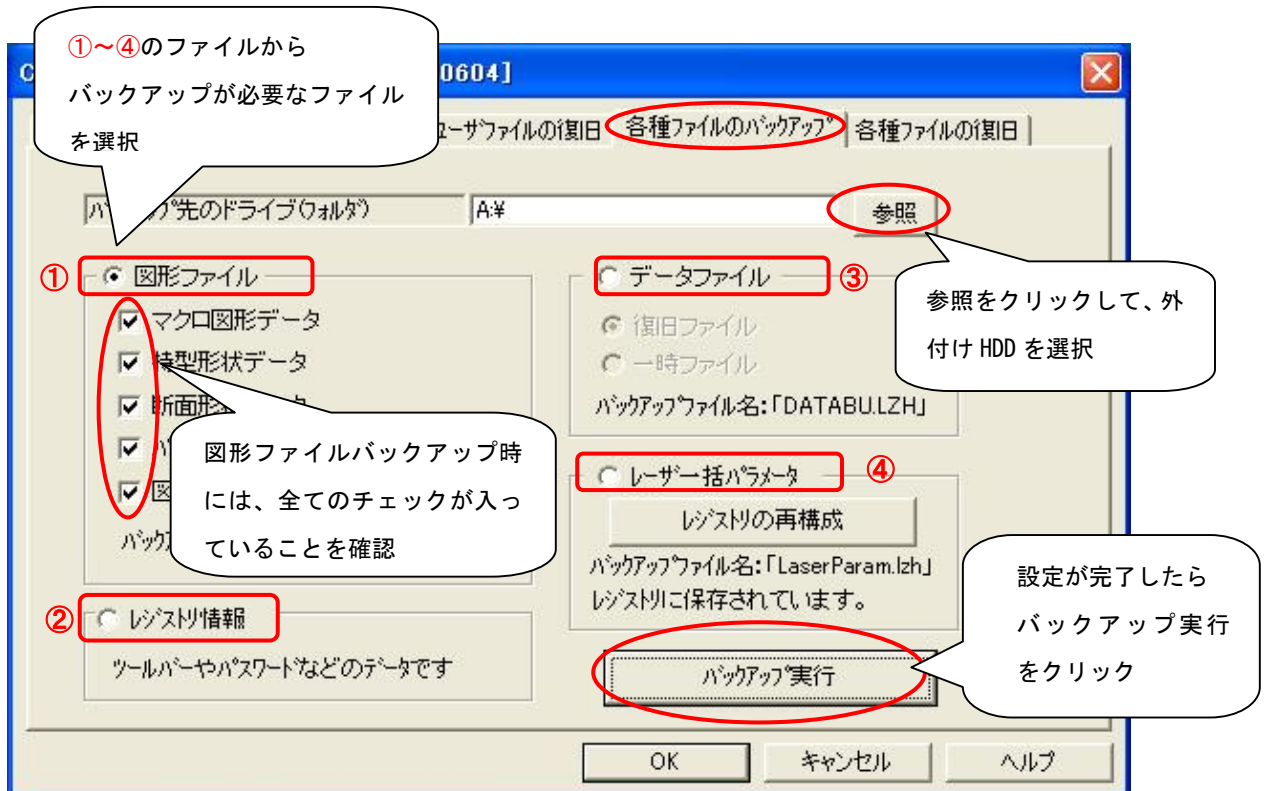
⑦ バックアップが完了すると、右図のようなダイアログが表示されますので、**OK**を押してください。
指定した場所に、「CWUBUP.LZH」という名称のバックアップファイルが作成されます。



■各種ファイルのバックアップ

マクロ図形・特型形状データ・レーザー括パラメータ等の各種ファイルのバックアップは、以下の手順にて行います。

- ① ユーザファイルのバックアップと同様に、環境設定のダイアログを立ち上げ、**各種ファイルのバックアップ** タブを選択します。
- ② バックアップが必要なファイルを選択し、ラジオボタンにチェックを入れます。
- ③ バックアップ先に外付けHDD等を選択し、保存先を選択した後、**バックアップ実行**をクリックします。



④ユーザデータのバックアップ時と同様のダイアログが表示され、バックアップファイルが指定した場所に保存されます。

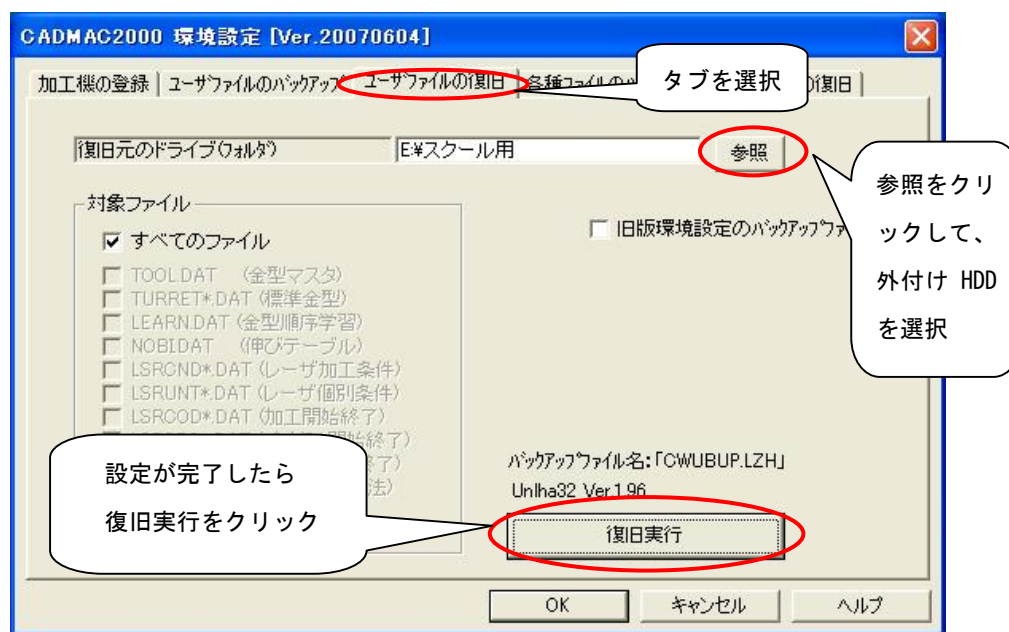
注意

一度に1種類のファイルしかバックアップできません。複数のファイルをバックアップするときはラジオボタンを切り替えて、再度バックアップを実行してください。

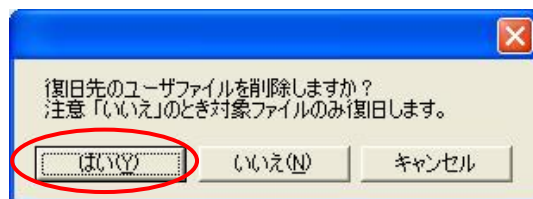
■ユーザデータの復旧

保存したバックアップデータを用いてのユーザファイル復旧は、以下の方法で行います。

- ①環境設定のダイアログにて、「ユーザファイルの復旧」タブを選択します。
- ②参照を押し、バックアップファイル保存先のフォルダを選択します。
- ③復旧対象のファイルにチェックが入っていることを確認し、**復旧実行**を選択します。



④ 以下のようなダイアログが表示されますので、「はい」を選択します。

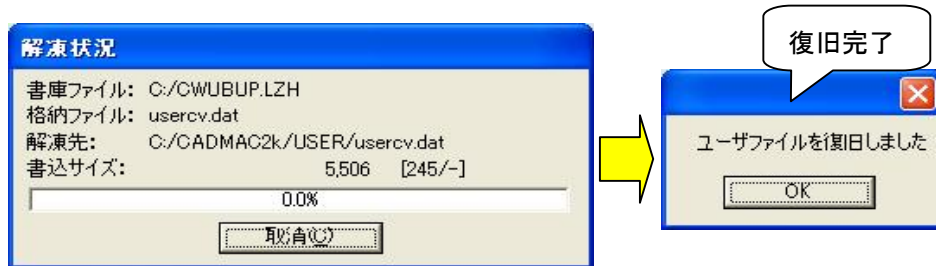


注意

ユーザファイルの復旧時、「いいえ」を選択すると、復旧先のファイルは削除されないため、復旧対象のファイル以外は置換されません。そのため、一部復旧前のファイルが混在することになりますので、通常は、「はい」を選択してください。

⑤ ファイルの解凍が開始されます。

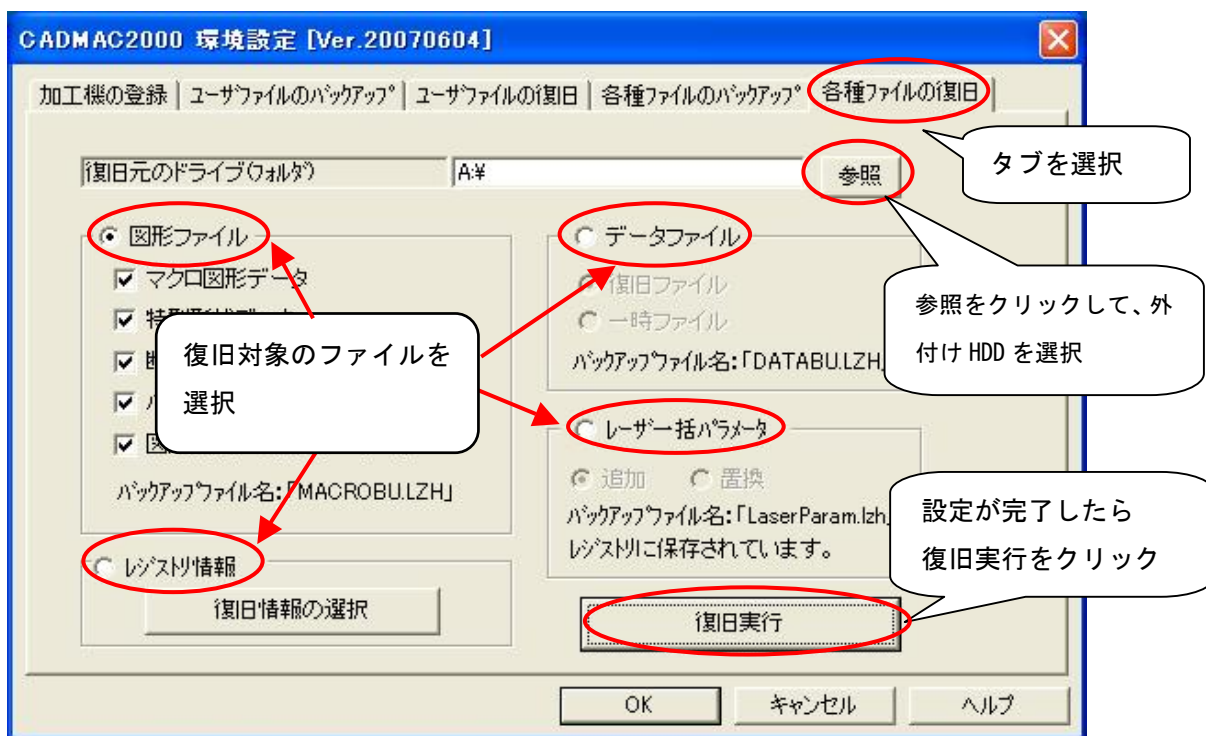
解凍が終了しますと、右側のダイアログが表示され、復旧完了となります。



■各種ファイルの復旧

保存したバックアップデータを用いての各種ファイル復旧は、以下の方法で行います。

- ①環境設定のダイアログにて、「各種ファイルの復旧」タブを選択します。
- ②参照を押し、バックアップファイル保存先のフォルダを選択します。
- ③復旧対象のファイルにチェックを入れ、復旧実行を選択します。



以後はユーザファイルと同様の手順で復旧完了です。CADMAC を立ち上げ、復旧が行われていることを確認してください。

- 本書に含まれている内容は、いかなる保証もない現状バージョンで提供されるものです。
- 本書の内容に対するソフトの使用、使用結果に対しては正確性、真実性等のいかなる表明、保証も致しません。またバージョンアップで予告無しに仕様の変更をすることがあります。
- 本書の内容を無断で転用することを禁じます。